# (略称)障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

第	第	第		第		,,,,									
四	=	二 条	部	一条	部	文	目								
条	条	条		条											
機会均等の原則	政策の目的	国の政策	障害者のための職業リハビリテーション及び雇用に関する政策の原則	定義及び適用範囲	定義及び適用範囲	文	次								
			鉄の原門					平成		平成	平成	平成	平成	昭和 六	昭和五十八年
			則					五 年		四年	四年	四 年	四 年	六十年	
								六月	Œ.	六月	六月	五月二	四月二	六月	六月
								六月 十二日	条約第二日	十九日	十二日	五月二十六日	四月二十四日	二十日	二十日
						一五九	ページ	我が国について効力発生	(条約第二号及び外務省告示第二八五号)	公布及び告示	批准書寄託	批准の閣議決定	国会承認	効力発生	ジュネーヴで作成

第

第二部 第

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

前

末第十	第十	第十	第十	第十	第十	第十一	第	第 四	第	第	第	第	第三部	第一
文	第十六条	第十五条	第十四条	第十二条	第十二条	条	十条	部	九 条	八条	七条	六条		五 条
文	全部又は一部を改正する条約を新たに採択する場合	運用に関する報告の提出一六五	批准及び廃棄の完全な明細の通知	通告及び喚起	廃棄	効力	批准の通知	最終規定	職員の訓練及び利用の確保	農村及びへき地の社会における措置	事業の実施及び評価のための措置	法令又はその他の方法による実施一六二	障害者のための職業リハビリテーション及び雇用に関する事業の発展のための国内的な措置一六二	政策の実施に関する協議

# (第百五十九号) 障害者の職業リハビリテーション及び雇用に関する条約

# 国際労働機関の総会は、

一日にその第六十九回会期として会合し、理事会によりジュネーヴに招集されて、千九百八十三年六月

に留意し、び千九百七十五年の人的資源開発勧告に定める現存の国際基準び千九百七十五年の人的資源開発勧告に定める現存の国際基準「九百五十五年の職業リハビリテーション(障害者)勧告及「

が見られたことに留意し、ている問題に関する多くの加盟国の法令及び慣行に著しい進展ている問題に関する多くの加盟国の法令及び慣行に著しい進展ハビリテーション事業の範囲及び組織並びに同勧告が対象とし採択された後、リハビリテーションの必要性に対する理解、リ採択された後、リハビリテーション(障害者)勧告が「千九百五十五年の職業リハビリテーション(障害者)勧告が「

を採択することが適当となったことを考慮し、 国際連合総会が千九百八十一年を「完全参加と平等」をテー国際連合総会が千九百八十一年を「完全参加と平等」をテー国際連合総会が千九百八十一年を「完全参加と平等」をが適当となったことを考慮し、 は、からに対いて、が、という目標の実現のため国際的及び国内がに効果的な措置をとるためのものであることを考慮し、 に対いてこれらの障害者に対して機会及び待遇の均等を確 で、社会においてにがいるに対して機会及び待遇の均等を確 で、社会においてにがらいであることを考慮し、 は、からに対いてに対いるに対して機会及び待遇の均等を確 であることが適当となったことを考慮し、 という目標の実現のため国際的及び国内 というとを表慮し、 というとを表慮し、 というとを表慮し、 というとのは、 といるとのは、 といるとのに、 といるに、 といるとのに、 といるとのに、 といるに、 といるに、 といるに、 といるとのに、 といるとのに、 といるに、 といるに、 といるに、 といるとのとのに、 

前記の会期の議事日程の第四議題である職業リハビリテーシ

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

# Convention 159

# CONVENTION CONCERNING VOCATIONAL REHABILITATION AND EMPLOYMENT (DISABLED PERSONS)

The General Conference of the International Labour Organisation

Having been convened at Geneva by the Governing Body of the International Labour Office and having met in its Sixty-ninth Session on 1 June 1983, and

Noting the existing international standards contained in the Vocational Rehabilitation (Disabled) Recommendation, 1955, and the Human Resources Development Recommendation, 1975, and

Noting that since the adoption of the Vocational Rehabilitation (Disabled) Recommendation, 1953, significant developments have occurred in the understanding of rehabilitation needs, the scope and organisation of rehabilitation services, and the law and practice of many Members on the questions covered by that Recommendation, and

Considering that the year 1981 was declared by the United Nations General Assembly the International Year of Disabled Persons, with the theme "full participation and equality" and that a comprehensive World Programme of Action concerning Disabled Persons is to provide effective measures at the international and national levels for the realisation of the goals of "full participation" of disabled persons in social life and development, and of "equality", and

Considering that these developments have made it appropriate to adopt new international standards on the subject which take account, in particular, of the need to ensure equality of opportunity and treatment to all categories of disabled persons, in both rural and urban areas, for employment and integration into the community, and

Having decided upon the adoption of certain proposals with regard to vocational rehabilitation which is the fourth item on the agenda of the

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

ョンに関する提案の採択を決定し、

を千九百八十三年六月二十日に採択する。 テーション及び雇用(障害者)条約と称することができる。) 次の条約(引用に際しては、千九百八十三年の職業リハビリ

部 定義及び適用範囲

# 第一条

適用範囲

1 体的又は精神的障害のため、適当な職業に就き、これを継続 る者をいう。 し及びその職業において向上する見通しが相当に減少してい この条約の適用上、「障害者」とは、正当に認定された身

2 社会における統合又は再統合の促進を図ることにあると認め 職業において向上することを可能にし、それにより障害者の 目的が、障害者が適当な職業に就き、これを継続し及びその この条約の適用上、加盟国は、職業リハビリテーションの

3 に適合する措置によって適用する。 加盟国は、この条約を、国内事情に適し、かつ、国内慣行

4 この条約は、すべての種類の障害者について適用する。

第 部 障害者のための職業リハビリテーション及び雇

六〇

session, and

Having determined that these proposals shall take the form of an international

adopts this twentieth day of Lune of the year one thousand nine hundred and eighty-three the following Convention, which may be cited as the Vocational Rehabilitation and Employment (Disabled Persons) Convention, 1983:

PART I. DEFINITION AND SCOPE

individual whose prospects of securing, retaining and advancing in suitable employment are substantially reduced as a result of a duly recognised physical or mental impairment 1. For the purposes of this Convention, the term "disabled person" means an

For the purposes of this Convention, each Member shall consider the purpose of vocational rehabilitation as being to enable a disabled person to secure, retain and advance in suitable employment and thereby to further such person s integration or reintegration into society

The provisions of this Convention shall be applied by each Member through measures which are appropriate to national conditions and consistent with national practice.

4. The provisions of this Convention shall apply to all categories of disablec

PART II. PRINCIPLES OF VOCATIONAL REHABILITATION AND EMPLOYMENT POLICIES FOR

国の政策

る国の政策を策定し、 性に応じて、 加盟国は、 障害者の職業リハビリテーション及び雇用に関す 国内事情及び国内慣行に従い、 実施し及び定期的に検討する。 かつ、国内の可能

増大を図ることを目的とする。 保すること及び開かれた労働市場における障害者の雇用機会の ションに関する適当な措置が利用できるようにすることを確 前条の政策は、すべての種類の障害者に対し職業リハビリテ

的政策の目

# 第四条

の原則等

を差別するものとみなしてはならない。 の実効的な均等を図るための特別な積極的措置は、 ない。障害者である労働者と他の労働者との間の機会及び待遇 者の間における機会及び待遇の均等は、尊重されなければなら 機会均等の原則に基づくものとする。障害者である男女の労働 第二条の政策は、障害者である労働者と他の労働者との間の 他の労働者

# 第五条

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

Each Member shall, in accordance with national conditions, practice and possibilities, formulate, implement and periodically review a national policy on vocational rehabilitation and employment of disabled persons

Article 2

employment opportunities for disabled persons in the open labour market measures are made available to all categories of disabled persons, and at promoting The said policy shall aim at ensuring that appropriate vocational rehabilitation

The said policy shall be based on the principle of equal opportunity between disabled workers and workers generally. Equality of opportunity and treatment for disabled men and women workers shall be respected. Special positive measures and other workers shall not be regarded as discriminating against other workers aimed at effective equality of opportunity and treatment between disabled workers

## Article 5

engaged in vocational rehabilitation activities. The representative organisations of and for disabled persons shall also be consulted. promote co-operation and co-ordination between the public and private bodies The representative organisations of employers and workers shall be consulted on the implementation of the said policy, including the measures to be taken to

び障害者のための団体も、 を含む。)に関して協議を受ける。また、代表的な障害者の及 民間団体との間の協力及び調整を促進するためにとられる措置 職業リハビリテーションに関する活動に従事する公的機関と 代表的な使用者団体及び労働者団体は、 協議を受ける。 第二条の政策の実施

る協議 施に関す

第三部 障害者のための職業リハビリテーション及び雇

用に関する事業の発展のための国内的な措置

PART III. ACTION AT THE NATIONAL LEVEL FOR THE DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION AND EMPLOYMENT SERVICES FOR DISABLED PERSONS

with national conditions and practice, take such steps as may be necessary to give effect to Articles 2, 3, 4 and 5 of this Convention. Each Member shall, by laws or regulations or by any other method consistent

other related services to enable disabled persons to secure, retain and advance in evaluating vocational guidance, vocational training, placement, employment and The competent authorities shall take measures with a view to providing and

第七条

その他の

る実施 方法によ

要な手段をとる。

の方法により、第二条から前条までの規定を実施するために必

加盟国は、法令又は国内事情及び国内慣行に適合するその他

第六条

の価施事 措の及び 置た 評実

活用する。 存の事業は、 実施し及び評価するための措置をとる。労働者全般のための現 職業訓練、 その職業において向上することを可能にするための職業指導、 権限のある機関は、障害者が職業に就き、これを継続し及び 職業紹介及び雇用に関する事業その他関連の事業を 可能かつ適当な場合には、必要な調整を行った上

employment; existing services for workers generally shall, wherever possible and appropriate, be used with necessary adaptations

け社会に 社会に おのび

めの措置がとられるものとする。

テーション及び雇用に関する事業の確立及び発展を促進するた

農村及びへき地の社会における障害者のための職業リハビリ

第九条

加盟国は、障害者の職業指導、

職業訓練、職業紹介及び雇用

職員が利用されることを確保するよう努める。

第四部

最終規定

第十条

の他の適当な能力を有する職員を訓練すること並びにこれらの に関する事業を担当するリハビリテーションのカウンセラーそ

知する。

知批准の通

この条約の正式な批准は、

登録のため国際労働事務局長に通

第十一条

力

1

効

この条約は、二の加盟国の批准が事務局長に登録された日

この条約は、国際労働機関の加盟国でその批准が国際労働

3

の後十二箇月で効力を生ずる。

その後は、この条約は、いずれの加盟国についても、その

2 事務局長に登録されたもののみを拘束する。

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

Measures shall be taken to promote the establishment and development of vocational rehabilitation and employment services for disabled persons in rural areas and remote communities.

Article 9

Each Member shall aim at ensuring the training and availability of rehabilita-tion counsellors and other suitably qualified staff responsible for the vocational

guidance, vocational training, placement and employment of disabled persons.

PART IV. FINAL PROVISIONS

Director-General of the International Labour Office for registration The formal ratifications of this Convention shall be communicated to the

Article 11

the Director-General International Labour Organisation whose ratifications have been registered with 1. This Convention shall be binding only upon those Members of the

It shall come into force twelve months after the date on which the ratifications of two Members have been registered with the Director-General.

Thereafter, this Convention shall come into force for any Member twelve months after the date on which its ratification has been registered.

批准が登録された日の後十二箇月で効力を生ずる。

# 第十二多

廃

棄

る。廃棄は、登録された日の後一年間は効力を生じない。長に送付する文書によってこの条約を廃棄することができじた日から十年を経過した後は、登録のため国際労働事務局1 この条約を批准した加盟国は、この条約が最初に効力を生

2

この条約を批准した加盟国で、1の十年の期間が満了した

棄することができる。満了するごとに、この条に定める条件に従ってこの条約を廃満了するごとに、この条に定める条件に従ってこの条約を廃は、その後更に十年間拘束を受けるものとし、十年の期間が後一年以内にこの条に定める廃棄の権利を行使しないもの

# 第十三条

る。
けたすべての批准及び廃棄の登録をすべての加盟国に通告すけたすべての批准及び廃棄の登録をすべての加盟国に通告す
1 国際労働事務局長は、国際労働機関の加盟国から通知を受

喚起 起告及び

つき加盟国の注意を喚起する。 機関の加盟国に通告する際に、この条約が効力を生ずる日に2 事務局長は、通知を受けた二番目の批准の登録を国際労働

# 第十四条

# Article 12

1. A Member which has ratified this Convention may denounce it after the expiration of ten years from the date on which the Convention first comes into force, by an act communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration. Such denunciation shall not take effect until one year after the date on which it is registered.

2. Each Member which has ratified this Convention and which does not, within the year following the expiration of the period of ten years mentioned in the preceding paragraph, exercise the right of denunciation provided for in this Article, will be bound for another period of ten years and, thereafter, may denounce this Convention at the expiration of each period of ten years under the terms provided for in this Article.

## Article 13

 The Director-General of the International Labour Office shall notify all Members of the International Labour Organisation of the registration of all ratifications and denunciations communicated to him by the Members of the Organisation.

When notifying the Members of the Organisation of the registration of the second ratification communicated to him, the Director-General shall draw the attention of the Members of the Organisation to the date upon which the Convention will come into force.

運用に関する報告を総会に提出するものとし、また、この条約

必要と認めるときは、この条約の

国際労働機関の理事会は、

第十五条

の提出

する報告関

ことの可否を検討する。 の全部又は一部の改正に関する問題を総会の議事日程に加える

# 第十六条

1 択する場合には、その改正条約に別段の規定がない限り、 総会がこの条約の全部又は一部を改正する条約を新たに採

に約正一全 採新るを 状 すた 条 さ は

る場合

力発生を条件として、第十二条の規定にかかわらず、当然 にこの条約の即時の廃棄を伴う。 加盟国によるその改正条約の批准は、その改正条約の効

(b) 条約が効力を生ずる日に終了する。 加盟国による批准のためのこの条約の開放は、その改正

2 形式及び内容で引き続き効力を有する。 していないものについては、いかなる場合にも、 この条約は、これを批准した加盟国で1の改正条約を批准 その現在

あ

# 第十七条

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

廃棄の完全な明細を国際連合事務総長に通知する。 録のため、 国際労働事務局長は、国際連合憲章第百二条の規定による登 前諸条の規定に従って登録されたすべての批准及び

and acts of denunciation registered by him in accordance with the provisions of the the Secretary-General of the United Nations for registration in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations full particulars of all ratifications preceding Articles The Director General of the International Labour Office shall communicate to

# Article 15

the working of this Convention and shall examine the desirability of placing on the agenda of the Conference the question of its revision in whole or in part At such times as it may consider necessary the Governing Body of the International Labour Office shall present to the General Conference a report on

whole or in part, then, unless the new Convention otherwise provides-Should the Conference adopt a new Convention revising this Convention in

(a) the ratification by a Member of the new revising Convention shall ipso jure provisions of Article 12 above, if and when the new revising Convention shall involve the immediate denunciation of this Convention, notwithstanding the have come into force;

(b) as from the date when the new revising Convention comes into force this Convention shall cease to be open to ratification by the Members.

content for those Members which have ratified it but have not ratified the revising 2. This Convention shall in any case remain in force in its actual form and

# Article 17

末

文

文

障害者の職業リハビリテーション及び雇用条約

この条約の英文及びフランス文は、ひとしく正文とする。

会期において、正当に採択した条約の真正な本文である。 九百八十三年六月二十二日に閉会を宣言されたその第六十九回 以上は、国際労働機関の総会が、ジュネーヴで開催されて千

総会議長

J・B・ボルジャー

署名した。

以上の証拠として、我々は、千九百八十三年六月二十二日に

day of June 1983.

IN FAITH WHEREOF we have appended our signatures this twenty-second

The English and French versions of the text of this Convention are equally authoritative.

六六

General Conference of the International Labour Organisation during its Sixty-ninth Session which was held at Geneva and declared closed the twenty-second day of June 1983 The foregoing is the authentic text of the Convention duly adopted by the

The President of the Conference

J. B. BOLGER

The Director-General of the International Labour Office,

国際労働事務局長

フランシス・ブランシャール

FRANCIS BLANCHARD

について定め、もって障害者の雇用機会の増大及び社会における統合の促進をはかることを目的と この条約は、障害者のための職業リハビリテーション及び雇用に関する政策の原則及びその実施 (参考)

するものである。